

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際連合大学事業への協力		事業開始年度	平成元年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課	国際課長 池原 充洋	
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合大学と我が国の大学、研究所、学界等との交流を図り、国連大学と我が国学术界との連携・協力を強化する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際連合大学理事等と我が国の学術関係者・政府関係者との間で、国際連合大学における各事業や、国際連合大学と我が国の大学との連携の方針などについて、意見交換を行う。					
実施状況	国際連合大学が平成22年9月からの開始を予定している大学院プログラムの準備状況について国際連合大学長等から説明を受け、本プログラムの実施に向けて我が国の学術関係者と政府の連携・協力の在り方について意見交換を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1	3	2	0.3	0
	執行額	1	2	1		
	執行率	100.0%	66.7%	50.0%		
	総事業費(執行ベース)	1	2	1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	会議出席謝金・通訳謝金・会議費などの支出に際しては、出席状況や通訳の実施状況について、現場で確認している。				
	見直しの余地	平成21年度に、国際連合大学の事業及び方針について意見交換を行い、学術関係者・政府関係者との相互理解が深まった。今後とも、予算を効率的に執行し、学術研究の振興に資するべく、我が国学术界関係者との連携・協力を強化してまいりたい。				
予算監視の効率化	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際連合大学と我が国の大学、研究所、学界等との意見交換を行うことを目的として平成元年から行われている長期継続事業である。予算執行(不用)の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：平成20年度及び21年度に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し他の類似事業との統合を視野にいれ、廃止のうえ整理統合すべきである。</p>					
補記						

国際連合大学事業への協力

A.文部科学省
1百万円

諸謝金
庁費

0.8百万円
0.1百万円 } を含む

国際連合大学理事等と我が国の学
術界関係者・政府関係者との間で、
国際連合大学の現状と今後の方針
について意見交換し、連携・協力を
強化する。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金及び通訳謝金	0.8			
庁費	国連大学学長との会議費	0.1			
計		0.9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0